

柏市 農業委員会だより



令和2年3月15日

第46号

(年2回発行)

発行：柏市農業委員会 〒277-8505 柏市柏五丁目10番1号 ☎(04)7167-1111(代表)



藤心で高品質なカブを生産する若手の雄

かね こ たか ひさ
～金子恭久さん～

藤心でカブ作りに取り組む金子恭久さんは、大学卒業を機に家業である農業の世界に飛び込み、今年で14年。始まりこそお父様の指導を受けながら手探りで技術を身に付けていった金子さんですが、今では市場関係者からの評価も高く、年間200日コンスタントに出荷を続けています。

こだわりは「食味」と「鮮度」。優良なカブを均質に安定して出荷する為、収穫のタイミングには特に気を付けているとのこと。永年培ってきた信頼が一番の財産であり、喜びと言います。今後は雇用を増やし、畑を拡大して経営を伸ばしたいと語る金子さん。頑張った分だけ認められるところが農業の魅力と語って下さいました。

新しく農業を始められる方に向けて「柏は市場や道の駅も近く、販路も多いことから、作りたい野菜を作ることが出来る良い環境。周りの声に耳を傾けながら、是非チャレンジして欲しい」と応援の言葉を頂きました。

柏の野菜が今以上にブランド力を付けて、市外からも買いに来てもらえるようにしたい。将来を語る金子さんの夢は大きく、その力強い眼差しが印象的でした。



金子さんが心を込めて育てたカブ

農地利用最適化推進施策に係る意見

平成28年「農業委員会等に関する法律」の改正に伴い、市の農業政策に対する要望は、従来の「建議」から農地利用最適化の推進に係る「意見」となりました。

令和元年11月21日、農業委員会(染谷茂会長)より柏市(秋山浩保市長)へ提出された「意見」並びに柏市からの回答は次のとおりです。



1 担い手への農地利用の集積・集約化

(1) 地域情報の収集と共有

各地域の農業者と積極的に情報交換し、農地の状況やニーズ等、健全な農業経営の実現と的確な支援実施に資する必要な情報を収集し、引き続き関係機関で共有されるよう、お願いします。

回答 農業者の高齢化が進む中、今後の地域農業を担う農業者に農地を集積・集約していくことは非常に重要な施策と考えております。これまでも中間管理機構をはじめ、農業委員会、東葛飾農業事務所などの関係機関と連携して取り組んでおり、引き続き、地域の状況等農業者の意見を聞きながら、農地の集積・集約化の促進に繋がるよう、関係機関との情報交換及び情報共有に努めてまいります。

(2) 担い手(貸し手と借り手)情報の共有

年々減少を続ける農地の生産性を高め、効率的な経営を実現する為、農地の集積・集約化を推進するに当たっては、貸し手と借り手の情報を必要な範囲で、これからも共有できる環境を整備されるよう、お願いします。

回答 担い手への農地集積・集約を進めていくには、貸し手と借り手の情報収集が欠かせないものと認識しております。引き続き、地域農業者との座談会や農業者アンケート等を通じて貸し手と借り手の情報収集に努め、農業委員会や中間管理機構をはじめとした関係機関と情報共有しやすい環境整備に努めてまいります。

(3) 次世代の育成

農業者の高齢化や後継者不足が深刻さを増す中、担い手の育成が求められており、その意欲や知識を向上させる為、各種技能研修や若手農業者と熟練農業者との意見交換、課題解決を図る話し合いの場を設ける等、今後共、次世代を担う人材の育成に努められるよう、お願いします。

回答 農家出身者以外からの参入及び農業後継者を増やすための取組みとして、各種補助金制度による支援を行っているほか、千葉県等の関係機関とも連携し、これまで育成セミナーや農業者同士が交流するイベントへの参加促進を図っております。引き続き、農業委員会、千葉県等の関係機関と連携し、次世代を担う人材の育成に努めてまいります。

2 遊休農地の発生防止・解消

(1) 農地中間管理機構の活用

各地区の農業委員の他、農業者や県などの関係機関と連携を図り、遊休農地(空き農地)の実情を把握すると共に、農地中間管理機構などを通じて借り手を募るなど、遊休農地の解消に努められるよう、引き続きお願いします。

回答 柏市では、中間管理機構や千葉県などの関係機関と連携し、担い手の農地集積を進めており、平成30年度末時点で124.3haの農地を中間管理機構を通じて担い手へ集積してまいりました。引き続き、農業委員会をはじめ、千葉県等とも連携しながら、農地中間管理機構を活用した遊休農地の解消に努めてまいります。

(2) 有効利用策の検討

借り手のいない遊休農地については、市民農園などの活用法を検討するなど、他市の事例なども踏まえ、積極的に有効利用の方策を検討されるよう、お願いします。

回答 これまでに、遊休農地にひまわりを植栽し、ひまわり畑という新たな地域の魅力を作り出すとともに、ヒマワリの種から油を精製して地域の産品とする取組みなどが行われております。今後も様々な視点から遊休農地の有効利用策について検討を行ってまいります。

(3) 解消の取り組みに対する支援

遊休農地や自作地に近接する遊休農地を借り受けて耕作管理する場合など、その解消に向けた自主積極的な取り組みを行う農業者に対して支援を行い、遊休農地の解消及び生産性の拡大を図られるよう、お願いいたします。

回答 柏市においても農業者の高齢化が進んでおり、新たな遊休農地の発生等が危惧される所です。遊休農地の解消に向け自主積極的な取り組みを行う農業者に対しては、引き続き、遊休農地解消のための各種補助金制度の活用を通じて支援を行ってまいります。また、農地利用最適化推進委員を所管する農業委員会と連携し、遊休農地に隣接する農地の耕作者や地域の担い手等に積極的な働きかけを行っていくことで、遊休農地の解消だけでなく生産性の拡大が図られるよう取組んでまいります。

3 新規参入の促進**(1) 支援策の紹介と地域交流**

新規就農者や農地所有適格法人などのニーズを把握した上で、国や県、関係機関による適切な支援策を紹介すると共に、既存農業者との交流の場を設けるなど、地域と一体となって新規参入者のバックアップに、これからも努められるよう、お願いいたします。

回答 農家出身者以外の方の新規参入を促進するなど、新たな担い手の確保は重要な施策と捉えております。これまででも新規就農相談があった際には、農業大学校での研修のご案内はもとより、既存農業者との繋がりを持ちながら実践的な農業研修が行えるよう、新規就農者と市内農家のマッチングを行うなど、就農までのサポートを積極的に行ってまいります。今後も農業委員会、農業事務所等の関係機関と連携し、就農後も安心して営農を継続できるように、きめ細かな支援を行ってまいります。

4 その他**(1) 農業振興地域・農用地区域の再検討**

農業地域を保全・形成し、公共投資その他農業振興に関する施策の推進を目的とした農業振興地域整備計画上の農地区分について、その趣旨を踏まえ、指定区域の調査並びに見直しを検討されるよう、お願いいたします。

回答 農地利用最適化の推進にあたっては、地域の実情や時世の流れに即した農業振興地域及び農用地区域の設定が重要であると考えております。現在、今後5年間の農業政策の方向性を定める「柏市都市農業振興計画」の策定に向けた基礎調査を実施しており、当該計画の策定と合わせ、指定区域の調査・見直しを行ってまいります。

(2) 優良農地の保全及び基盤強化

優良農地の生産性を高め、自然災害による農地の浸水被害等を未然に防ぐことを目的とした手賀沼周辺の国営総合農地防災事業や北部地区における江川土地改良事業などについて、近隣自治体とも連携し、その推進を国や県に働きかけ、農業者が安心して耕作できる環境の整備に努められるよう、お願いいたします。

回答 手賀沼や利根川周辺をはじめとする農業用水路や揚排水機場といった施設の老朽化が進んでおり、農業施設の基盤整備の強化や更新を計画的に行っていく必要があります。今後も近隣自治体や土地改良区等と連携し、基盤強化が適切に図られるよう国・県に働きかけを行うことで、農地の生産性を高め、農業者が安心して耕作できる環境整備に努めてまいります。

(3) ブランド化の推進

物流の発展によって多様な品目が市場に飽和する中、柏市産の農産物の差別化を図り、付加価値を高める施策を講じると共に、農産物の安全性や品質向上に努められるよう、お願いいたします。

回答 農業イベントなど様々な機会を捉え、柏市産農産物のパンフレットや啓発品等を広く内外に配布しPRを行うことで、柏市産農産物の認知度の向上を図り、地産地消を着実に推進してまいります。また、引き続き、農産物の定期的な放射線測定を行い、柏市産農産物の安全性を消費者にお知らせしていくとともに、農薬の適正使用など、農業者や農業協同組合とも連携しながら、安全・安心な農産物が提供されるよう努めてまいります。

(4) 食育の普及

地産地消の推進の他、健康や農業など、多面的な関心を喚起する食育について、柏市産の農産物普及のみならず、次世代を担う農業者育成の観点からも、公民学の関係機関と連携し、その一層の普及に努められるよう、お願いいたします。

回答 現在、保健福祉部、教育委員会等と連携し、市内の学校・保育園・病院等市内施設の栄養士等に向けた、柏の農業に関する研修会の他、小学生の親子を対象とした「柏の農とのふれあいパンフレット」の作成、農業者による小学校への出前講座など、柏の農業の特徴や魅力、課題について伝える取り組みを行っております。また、市内事業者及び教育機関とも連携し、市内小学生や幼稚園児を対象に、稲刈りやさつまいも収穫体験といった、子供が農業に触れる機会の創出に努めております。今後も、多様な関係機関との連携による食育の推進に努めてまいります。

賃借料情報

1 田(水稲)の部					
締結(公告)された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数
旧柏市地域	基盤整備地域	22,000円	22,500円	15,000円	92
	未整備地域	—	—	—	0
旧沼南町地域	基盤整備地域	22,400円	22,500円	20,000円	96
	未整備地域	—	—	—	0
柏市平均(参考)		22,200円	—	—	188

2 畑(普通畑)の部					
締結(公告)された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数
旧柏市地域	基盤整備地域	13,300円	22,500円	5,000円	11
	未整備地域	16,000円	20,000円	8,600円	14
旧沼南町地域	基盤整備地域	19,900円	20,000円	19,800円	18
	未整備地域	16,900円	27,200円	6,700円	16
柏市平均(参考)		16,500円	—	—	59

平成31年1月から令和元年12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10a 当たり)は、下記のとおりです。

- ※1 データ数は集計に用いた筆数である。
- ※2 賃貸料を物納支給(水稲)としている場合は、60kg 当たり 15,000 円に換算している。
- ※3 金額は算出結果を四捨五入し、100 円単位としている。
- ※4 柏市平均(参考)の平均額は、各区分の平均値をデータ数により加重平均した値である。
- ※5 必要データ数を5件以上としている為、数値が出ていない地域がある。

遊休農地(利用状況)調査結果



農業委員・農地利用最適化推進委員による調査

農業委員会では毎年、遊休農地(利用状況)調査を実施しています。遊休農地を確認後、所有者へ意向調査を行い、今後の利用の意思や農地中間管理機構への貸付希望等を確認しています。農地の所有者は農地を適正に管理する義務があります。皆様のご理解とご協力をお願いします。

地区	田				畑				合計			
	筆数		面積		筆数		面積		筆数		面積	
柏	158	(9)	53,482	(4,013)	25	(0)	8,408	(0)	183	(9)	61,890	(4,013)
田中	14	(0)	12,196	(0)	19	(5)	18,552	(9,392)	33	(5)	30,748	(9,392)
土	10	(6)	8,174	(6,294)	12	(0)	9,297	(0)	22	(6)	17,471	(6,294)
富勢	19	(8)	21,058	(10,871)	30	(23)	46,475	(40,553)	49	(31)	67,533	(51,424)
風早	89	(49)	71,774	(41,504)	35	(9)	36,489	(9,325)	124	(58)	108,263	(50,829)
手賀	274	(128)	171,742	(99,297)	154	(8)	95,543	(5,246)	428	(136)	267,285	(104,543)
合計	564	(200)	338,426	(161,979)	275	(45)	214,764	(64,516)	839	(245)	553,190	(226,495)

(単位面積：㎡) 表内()は農用地区域内

視察研修報告

令和元年10月10日(木)・11日(金)両日、**国際農業資材EXPO**(幕張メッセ)、**全農 営農・技術センター**(平塚市)、**ファーマーズ御殿場**(御殿場市)において農業委員・農地利用最適化推進委員による視察研修を実施しました。

柏市のみならず全国的に農業従事者が減少する中、今後一層効率的な農業経営が求められることになりました。今回の視察研修を通じて、最先端の農機具や耕作技術について、幅広い知見を得られたことは大きな収穫となりました。



農業用ビニールの捨て方

使用済み農業用ビニールは、家庭から出るごみとしてごみ集積所に出すことはできません。市では、ごみ集積所に出された場合、違反ごみとして収集していませんが、誤って清掃工場などに搬入されると、その除去に多くの時間と労力を要しており、作業効率に悪影響が出ています。農業用ビニールを捨てる際は、柏市園芸用廃プラスチック対策協議会もしくは産業廃棄物業者に依頼してください。

【お問い合わせ先】

柏市役所 農政課 電話 04771671143
 廃棄物政策課 電話 04771671140



機械に絡みついた農業用ビニールを除去しているところ

農地を貸したい方、借りたい方 募集しています

- 農業からの引退を考えている。
 - 相続した農地の管理に困っている。
 - 水田をやめて畑に専念したい。等々
- 何らかの事情で農地を貸し出したい方はいらっしゃいませんか？

農地中間管理機構 (公益社団法人千葉県園芸協会) が農地の借り手を探し、賃料支払い等の仲介を行います。

出し手は、地域の農地の一定割合(2割超)を機構に貸し出す場合、個人が一定の要件(連続した2筆以上の農地を貸す)を満たす場合、離農する場合など、**協力金の交付**を受けることが出来ます。

担い手は、機構からまとまった農地を借りて集約化できる他、出し手が複数の場合であっても契約は機構と結ぶだけで**賃借料支払いの事務が軽減**されます。

耕作しきれない農地を貸し出したい方、農地を借りて規模拡大を検討されている方、まずは農地中間管理機構へご相談ください。

【お問い合わせ先】

農地中間管理機構
 (公益社団法人千葉県園芸協会)
 電話 043122313011



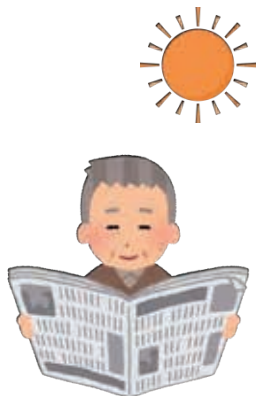
貸付

農地中間管理機構
 (千葉県園芸協会)

借受



全国農業新聞で情報収集



【お申し込み先】
 柏市農業委員会事務局
 柏市柏5丁目10番1号
 柏市役所 別館4階

「全国農業新聞」は全国農業会議所が発行する農家の皆さんの為の専門紙です。
 最新の役立つ情報が満載された「全国農業新聞」を購読してみませんか？

● 毎週金曜発行
 ● 月額700円

令和2年産

たけのご販売

出荷及び販売の流れは、次のとおりです。
 今春に県が柏市内で実施する出荷前検査（無作為に1ヶ所）の結果が基準値（100 Bq/kg）以下であることが確認され次第、出荷可能です（これまで市で未検査の竹林を含む）。検査結果については、県のホームページでご確認ください。

【お問い合わせ先】
 柏市役所 農政課 電話 04-7167-1143



* 地産地消をテーマに地域の農家が集まりました。
 「どれをとっても新鮮」が自慢！
 自慢の野菜をレストランでどうぞ！

柏市高田 100番地
 TEL 04-7141-6755
 営業時間: 9:00~18:00
 (レストラン11:00~15:00)
 定休日: 水曜日

令和2年度 農業委員会総会等の日程

柏市農業委員会の総会等日程をお知らせします。申請締切日は原則として毎月25日（土日祝日の場合は前日）となります。
 なお申請は余裕をもって締切日の1週間前までに事前ご相談くださるようお願いいたします。

	申請締切日	調査会日程				総会日程
		現地調査		面接調査		
令和2年	3月25日(水)	4月6日(月)	4月7日(火)	4月10日(金)	4月10日(金)	
"	4月20日(月)	4月30日(木)	5月1日(金)	5月8日(金)	5月8日(金)	
"	5月25日(月)	6月1日(月)	6月2日(火)	6月8日(月)	6月8日(月)	
"	6月25日(木)	7月6日(月)	7月7日(火)	7月10日(金)	7月10日(金)	
"	7月22日(水)	8月3日(月)	8月4日(火)	8月7日(金)	8月7日(金)	
"	8月25日(火)	9月2日(水)	9月3日(木)	9月8日(火)	9月8日(火)	
"	9月25日(金)	10月5日(月)	10月6日(火)	10月9日(金)	10月9日(金)	
"	10月23日(金)	11月4日(水)	11月5日(木)	11月10日(火)	11月10日(火)	
"	11月25日(水)	12月2日(水)	12月3日(木)	12月9日(水)	12月9日(水)	
令和2年/令和3年	12月17日(木)	12月24日(木)	12月25日(金)	1月8日(金)	1月8日(金)	
令和3年	1月25日(月)	2月1日(月)	2月2日(火)	2月5日(金)	2月5日(金)	
"	2月25日(木)	3月4日(木)	3月5日(金)	3月9日(火)	3月9日(火)	
"	3月25日(木)	未定	未定	未定	未定	

※ 会場は市役所 別館4階 第5会議室を予定していますが、変更となる場合もあります。

※ 市街化区域の転用届は随時（平日午後4時30分まで）受付しています。

編集委員長
 副委員長
 編集委員

谷田 和代
 秋谷 昌治
 関根 勝敏
 金子 幸司
 増田 直晴
 大宮 茂男